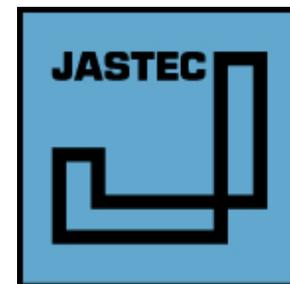


<http://www.jastec.co.jp>



株式会社 **ジャステック**

平成28年11月期
第1四半期決算に関する補足資料
(証券コード 9717)

目次

I. 業績ハイライト

I-1 連結	P. 1
I-2 当社	P. 2
I-3 海外子会社	P. 3
I-4 セグメント	P. 4
I-5 四半期連結財務諸表(要旨)		
I-5-1 四半期連結貸借対照表(要旨)	P. 5
I-5-2 四半期連結損益計算書(要旨)	P. 6
I-6 通期連結業績予想	P. 7

II. 詳細情報

II-1 当第1四半期の経営状況と業績	P. 9
II-2 当期の見通し	P.11
II-3 四半期連結財務諸表	P.13

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

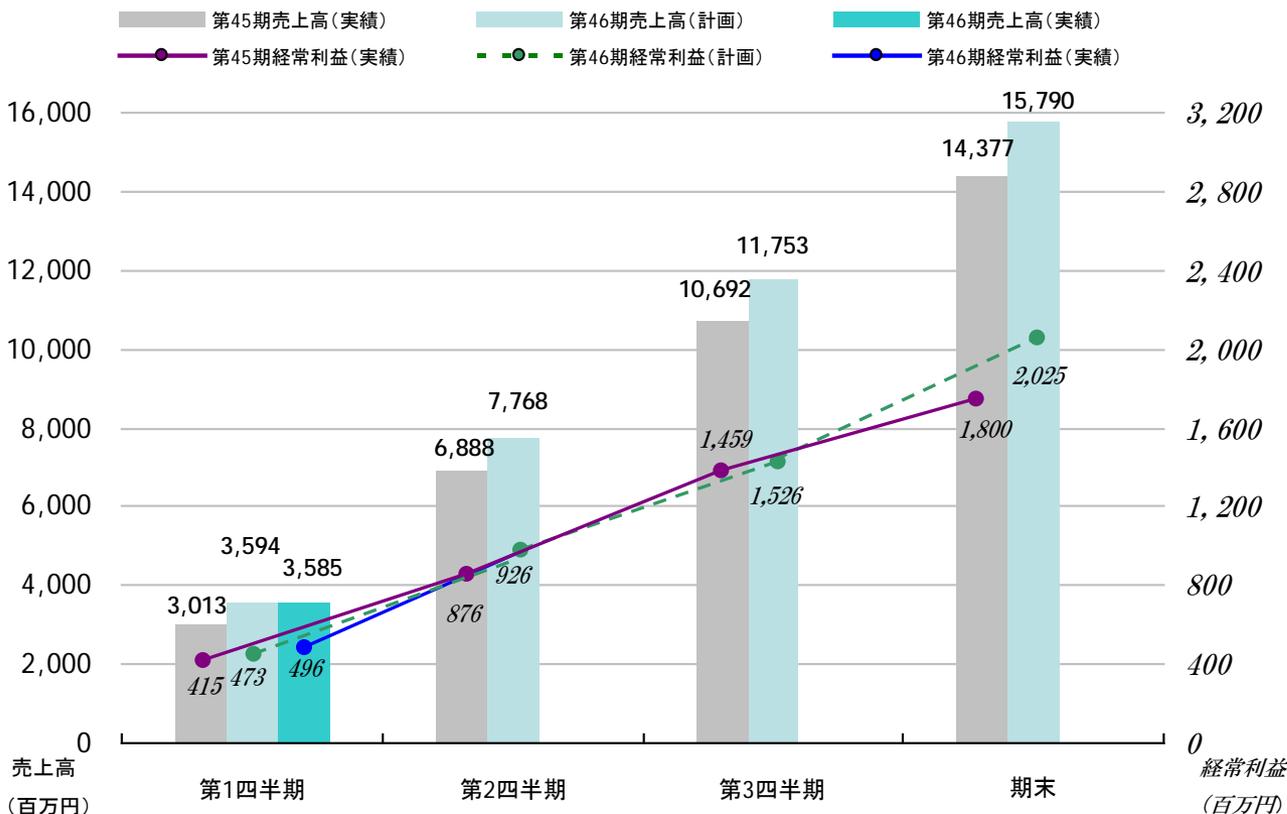
通期業績予想

I-1 連結

□売上高 : 3,585百万円 ^{前期比} (+19.0%↑)

□経常利益 : 496百万円 ^{前期比} (+19.6%↑)

売上高および経常利益の推移



<売上高>

ソフトウェア開発事業において、大手企業のシステム化投資が積極姿勢に転じつつあり、金融・保険業、製造業および電力・運輸業などの開発案件が増加

<経常利益>

ソフトウェア開発事業における売上高の増加およびシステム販売事業の縮小均衡に伴う営業損失の削減などにより増加

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

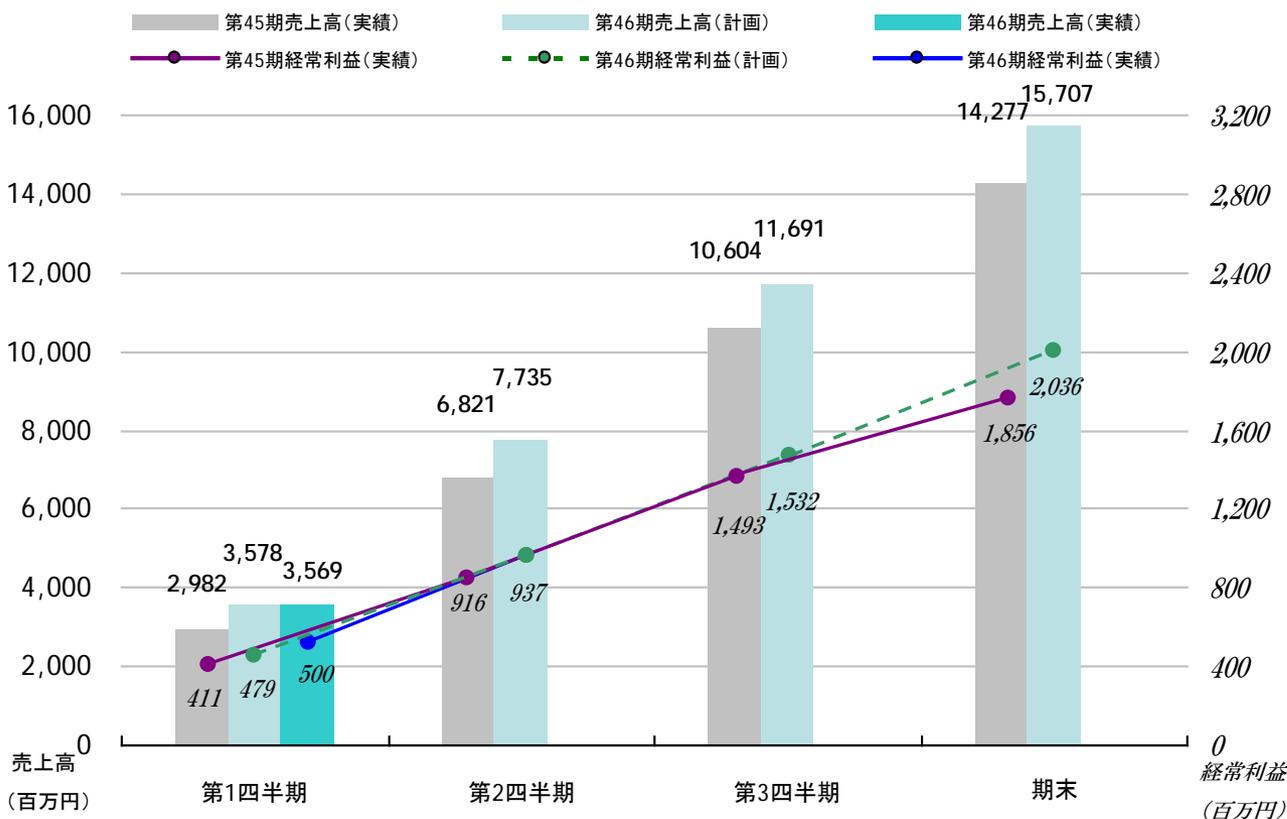
通期業績予想

I-2 当社

□売上高 : 3,569百万円 (前期比 +19.7%↑)

□経常利益 : 500百万円 (前期比 +21.6%↑)

売上高および経常利益の推移



<売上高>

金融・保険業の基幹業務案件および再構築案件、製造業の通信基盤案件、電力・運輸業の再構築案件などの売上増に伴い増加

<経常利益>

増収効果などにより増加

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

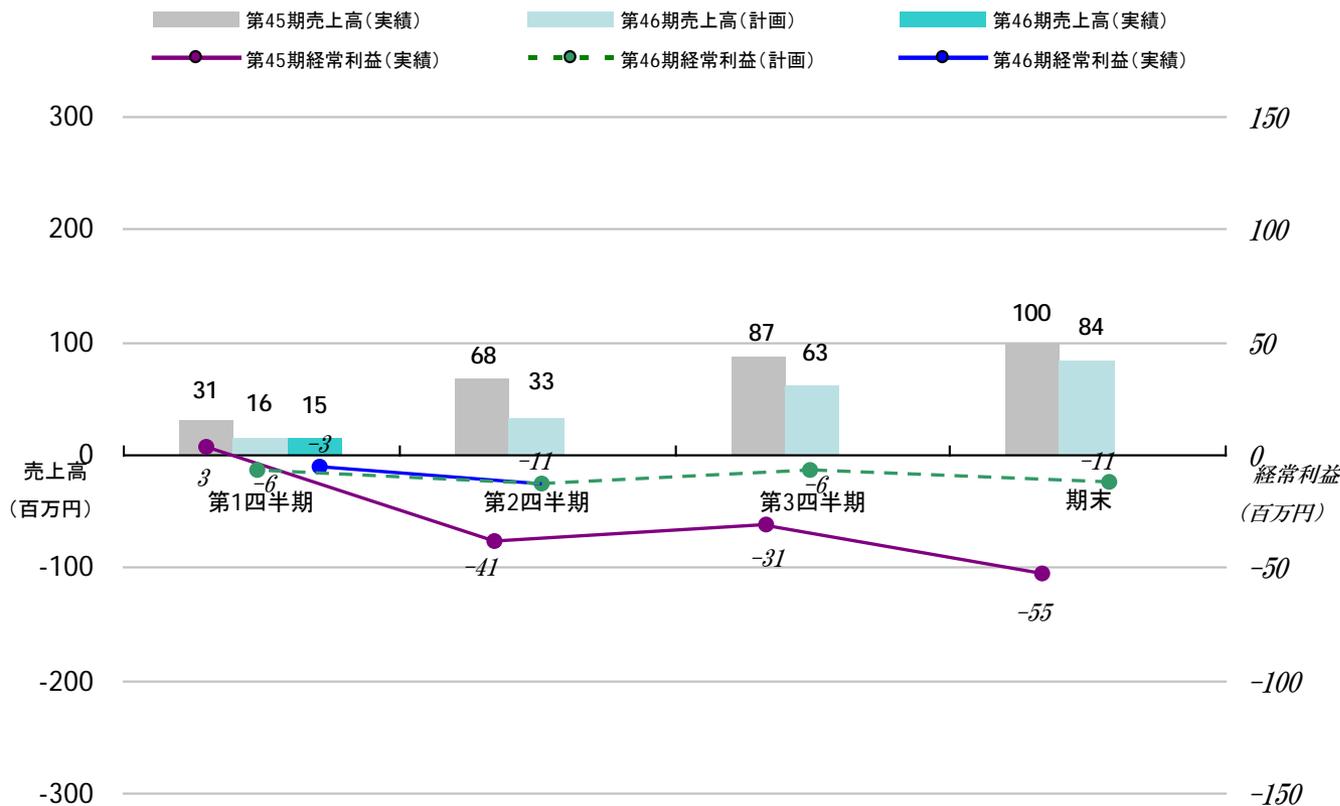
通期業績予想

I-3 海外子会社

□売上高 : 15百万円 (前期比 $\Delta 51.5\%$ ↓)

□経常利益 : $\Delta 3$ 百万円 (前期差 $\Delta 6$ 百万円 ↓)

売上高および経常利益の推移



<売上高>

システム販売事業の縮小均衡を図り、類似画像検索技術に関するソフトウェアパッケージのサポート業務に特化したことによる減少

<経常利益>

販売費及び一般管理費は減少したものの、為替差益の減少に伴い減少

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

通期業績予想

I-4 セグメント

■ソフトウェア開発事業

売上高 : 3,569百万円(^{前期比} +19.7%↑)

■ 素材・建設 : 230百万円(Δ6.5%↓)

■ 製造 : 519百万円(+63.4%↑)

■ 金融・保険 : 1,741百万円(+17.3%↑)

■ 電力・運輸 : 506百万円(+30.2%↑)

■ 情報・通信 : 410百万円(+3.5%↑)

■ 流通・サービス : 160百万円(+13.2%↑)

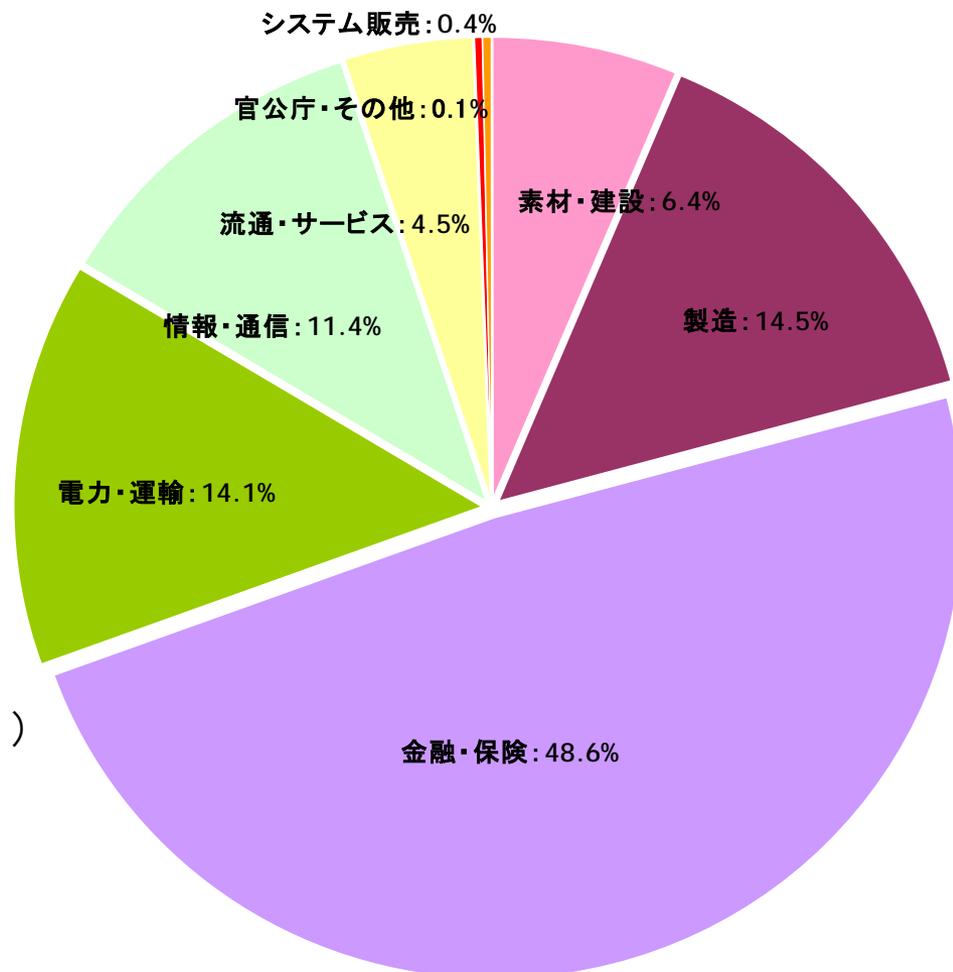
■ 官公庁その他 : 0.5百万円(Δ90.2%↓)

セグメント利益 : 411百万円(^{前期比} +11.4%↑)

■システム販売事業

売上高 : 15百万円(^{前期比} Δ51.5%↓)

セグメント利益 : Δ6百万円(^{前期差} +32百万円)



I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

通期業績予想

I-5 四半期連結財務諸表（要旨）

I-5-1 四半期連結貸借対照表（要旨）

（金額単位：百万円）

資産科目	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)	増減率
流動資産	8,552	7,804	△8.7%
固定資産	8,813	8,509	△3.4%
資産合計	17,365	16,313	△6.1%

前下期賞与の支給、前期法人税等および前期配当金の支払いに伴う現金及び現金同等物の減少などにより減少

投資有価証券(投資信託)の売却などにより減少

負債・純資産科目	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)	増減率
負債合計	3,335	2,737	△17.9%
流動負債	2,533	1,948	△23.1%
固定負債	802	789	△1.7%
純資産合計	14,029	13,576	△3.2%
負債・純資産合計	17,365	16,313	△6.1%

四半期純利益の計上により増加したものの、配当金の支払および自己株式の取得により全体としては減少

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

通期業績予想

I-5-2 四半期連結損益計算書（要旨）

（金額単位：百万円）

科目	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年12月1日 至平成28年2月29日）	増減率
売上高	3,013	3,585	+19.0%
売上原価	2,324	2,845	+22.4%
売上総利益	689	739	+7.3%
販売費及び一般管理費	358	334	△6.7%
営業利益	330	405	+22.5%
経常利益	415	496	+19.6%
親会社株主に帰属する四半 期純利益	199	319	+60.7%
1株当たり四半期純利益（円）	11.45	18.34	+60.2%

ソフトウェア開発事業に
おける売上高の増加など
により増加

経常利益の増加および
関係会社整理に関する
特別損失の減少など
により増加

I. 業績ハイライト

連結

当社

海外子会社

セグメント

連結財務諸表

通期業績予想

I-6 通期連結業績予想

通期連結業績予想は、第45期期末決算発表時に公表(平成28年1月12日公表)した値からの修正はありません。

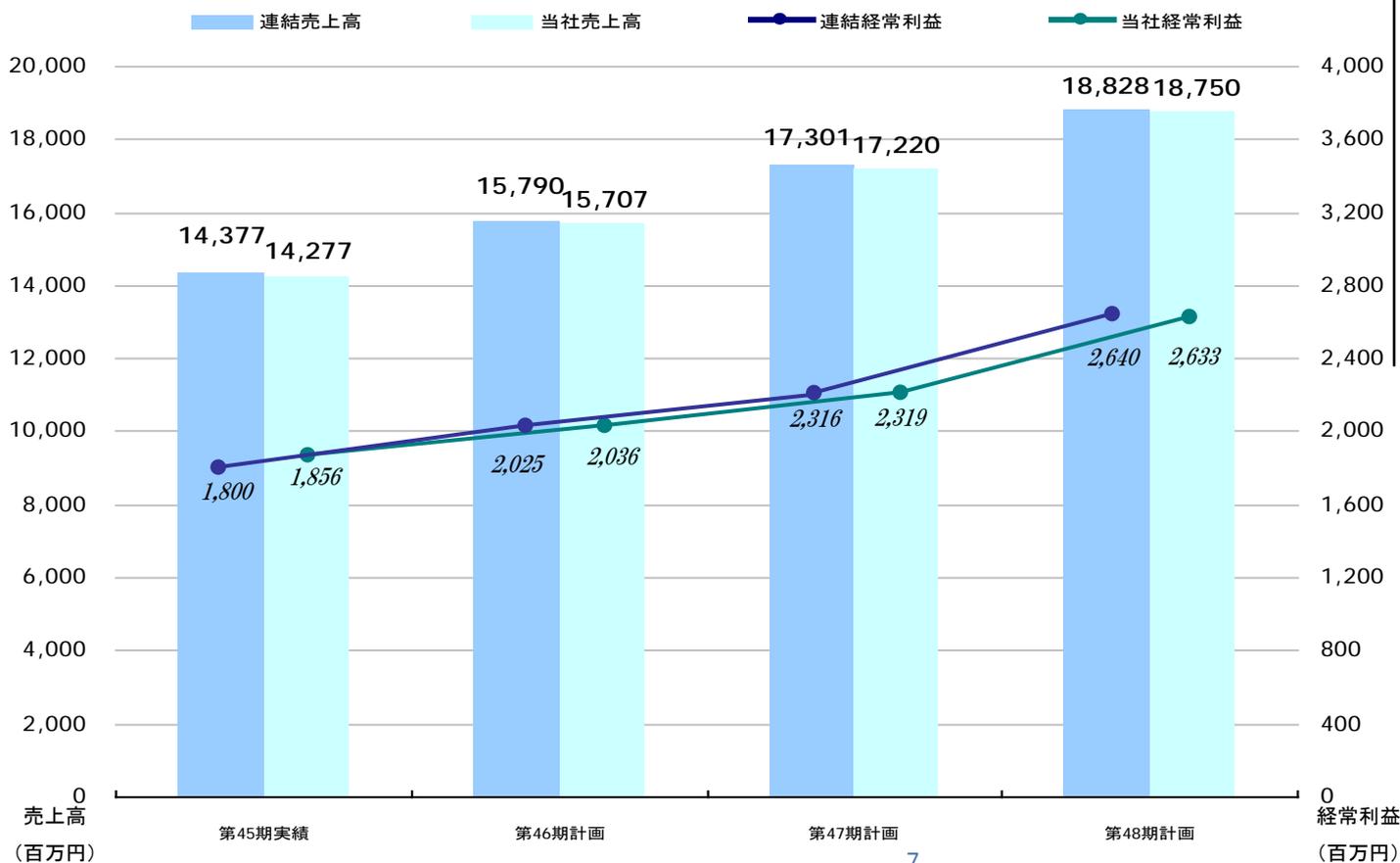
前期実績比

□当期売上高 : 15,790百万円(+9.8%↑)

前期実績比

□当期経常利益 : 2,025百万円(+12.4%↑)

売上高および経常利益の推移



<当期売上高>

ソフトウェア開発事業における金融・保険および電力・運輸向けの受注増により増加

<当期経常利益>

ソフトウェア開発事業における売上高の増加および原価率の改善などにより増加

Ⅱ．詳細情報

Ⅱ-1 当第1四半期の経営状況と業績

Ⅱ-1-1 当第1四半期累計期間の実績	P. 9
Ⅱ-1-2 セグメント別営業利益の増減分析	P.10

Ⅱ-2 当期の見通し

Ⅱ-2-1 当期の四半期毎の連結業績推移(計画)	P.11
Ⅱ-2-2 セグメント情報	
(1)取引先市場別区分毎の売上高構成の推移(実績2年、計画3年).....	P.12
(2)主要業務システム別売上高構成の推移(実績2年、計画2年).....	P.12

Ⅱ-3 四半期連結財務諸表

Ⅱ-3-1 比較四半期連結貸借対照表.....	P.13
Ⅱ-3-2 比較四半期連結損益計算書.....	P.14

Ⅱ 詳細情報

当第1四半期の経営状況と業績

当期の見通し

連結財務諸表

Ⅱ-1 当第1四半期の経営状況と業績

Ⅱ-1-1 当第1四半期累計期間の実績

一連結一

	前期(第45期)	当期(第46期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績		
売上高	3,013百万円	3,594百万円	3,585百万円	+ 19.0%	△ 0.2%
営業利益	330百万円	407百万円	405百万円	+ 22.5%	△ 0.4%
経常利益	415百万円	473百万円	496百万円	+ 19.6%	+ 5.0%
経常利益率	(13.8%)	(13.2%)	(13.9%)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	199百万円	237百万円	319百万円	+ 60.7%	+ 34.9%

一当社一

	前期(第45期)	当期(第46期)		前期比 ((当期実績-前期実績) /前期実績)	計画比 ((当期実績-当期計画) /当期計画)
	実績	計画	実績		
売上高	2,982百万円	3,578百万円	3,569百万円	+ 19.7%	△ 0.2%
営業利益	370百万円	413百万円	411百万円	+ 11.3%	△ 0.3%
経常利益	411百万円	479百万円	500百万円	+ 21.6%	+ 4.5%
経常利益率	(13.8%)	(13.4%)	(14.0%)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	261百万円	363百万円	326百万円	+ 25.0%	△ 10.1%

Ⅱ 詳細情報

当第1四半期の経営状況と業績

当期の見通し

連結財務諸表

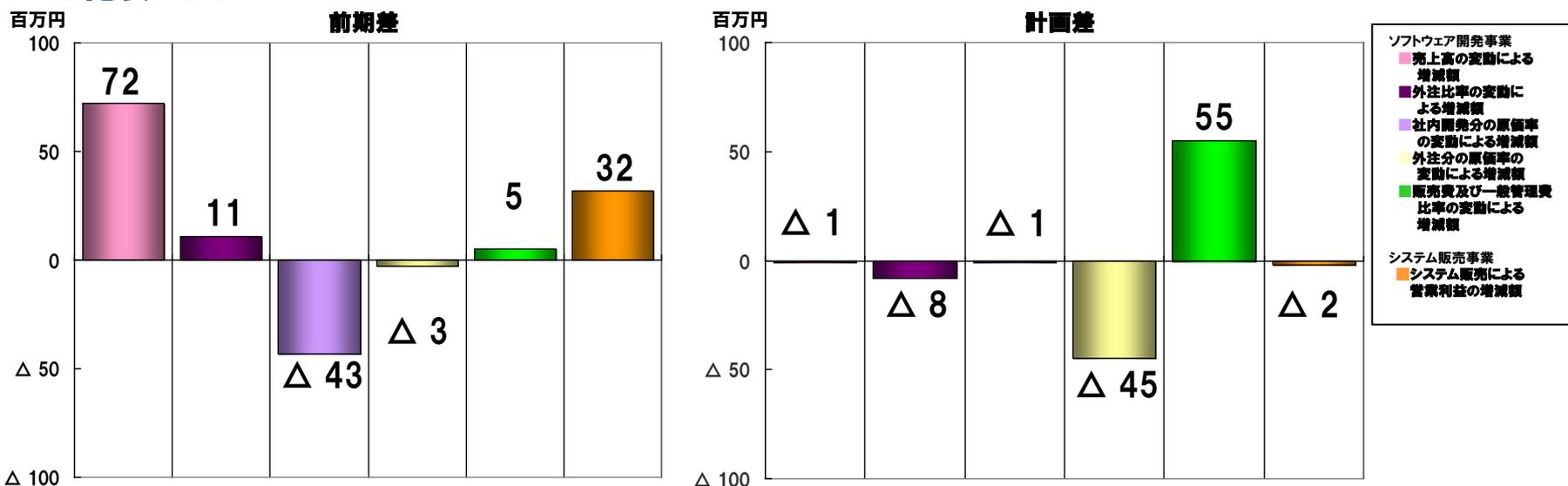
Ⅱ-1-2 セグメント別営業利益の増減分析

- 前期差(当期実績-前期実績)および計画差(当期実績-当期計画) -

※ 以下表は、連結営業利益の増減額を、ソフトウェア開発による営業利益およびシステム販売による営業利益に区分し、更にソフトウェア開発によるものを、利益に影響を与える5つの要因に区分して分析し、表示しております。

	前期差		計画差	
	金額(百万円)	売上高比率(%)	金額(百万円)	売上高比率(%)
ソフトウェア開発による営業利益の増減額	42	1.2	0	0.0
売上高の変動による増減額	72	2.1	△1	△0.0
外注比率の変動による増減額	11	0.3	△8	△0.2
社内開発分の原価率の変動による増減額	△43	△1.2	△1	△0.0
外注分の原価率の変動による増減額	△3	△0.1	△45	△1.3
販売費及び一般管理費比率の変動による増減額	5	0.1	55	1.5
システム販売による営業利益の増減額	32	0.9	△2	△0.1
合計(連結営業利益の増減額)	74	2.1	△2	△0.1

- 上記表のグラフ -



Ⅱ 詳細情報

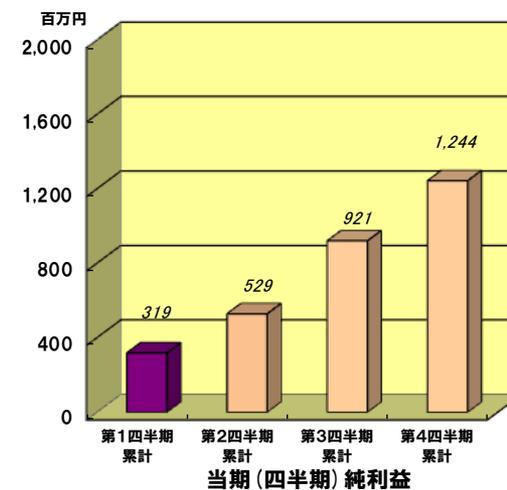
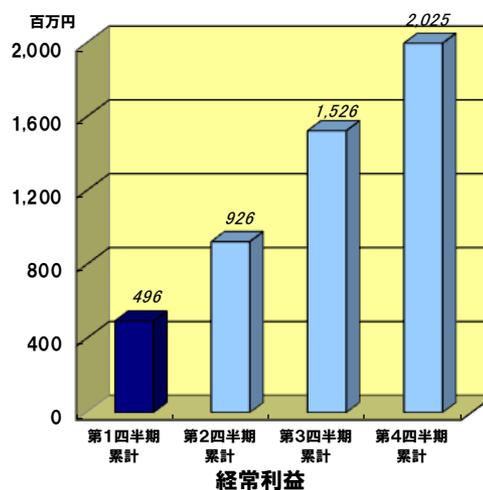
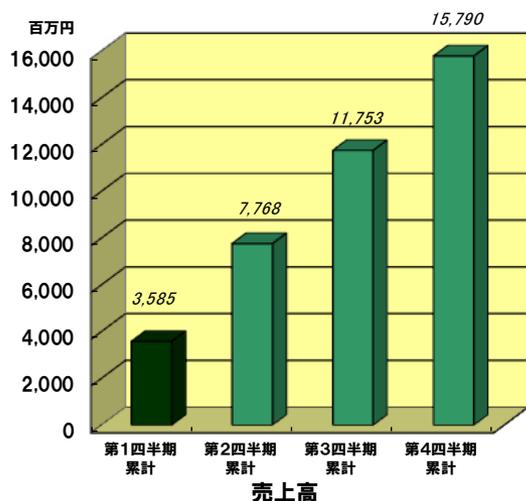
当第1四半期の経営状況と業績

当期の見通し

連結財務諸表

Ⅱ-2 当期の見通し

Ⅱ-2-1 当期の四半期毎の連結業績推移(計画)



(金額単位:百万円^(注1)、売上比単位:%)

項目	第1四半期累計(12月~2月)		第2四半期累計(12月~5月)		第3四半期累計(12月~8月)		第4四半期累計(12月~11月)	
	実績		計画		計画		計画	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	3,585	100.0	7,768	100.0	11,753	100.0	15,790	100.0
営業利益	405	11.3	832	10.7	1,388	11.8	1,868	11.8
経常利益	496	13.9	926	11.9	1,526	13.0	2,025	12.8
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	319	8.9	529	6.8	921	7.8	1,244	7.9
受注高 ^(注2)	3,560	—	7,945	—	11,982	—	16,321	—
受注残高 ^(注2)	5,004	—	5,226	—	5,308	—	5,633	—

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 受注高および受注残高は、ソフトウェア開発に係るものであります。

なお、前期(第45期)の受注高は15,342百万円、前期末の受注残高は5,013百万円であります。

Ⅱ 詳細情報

当第1四半期の経営状況と業績

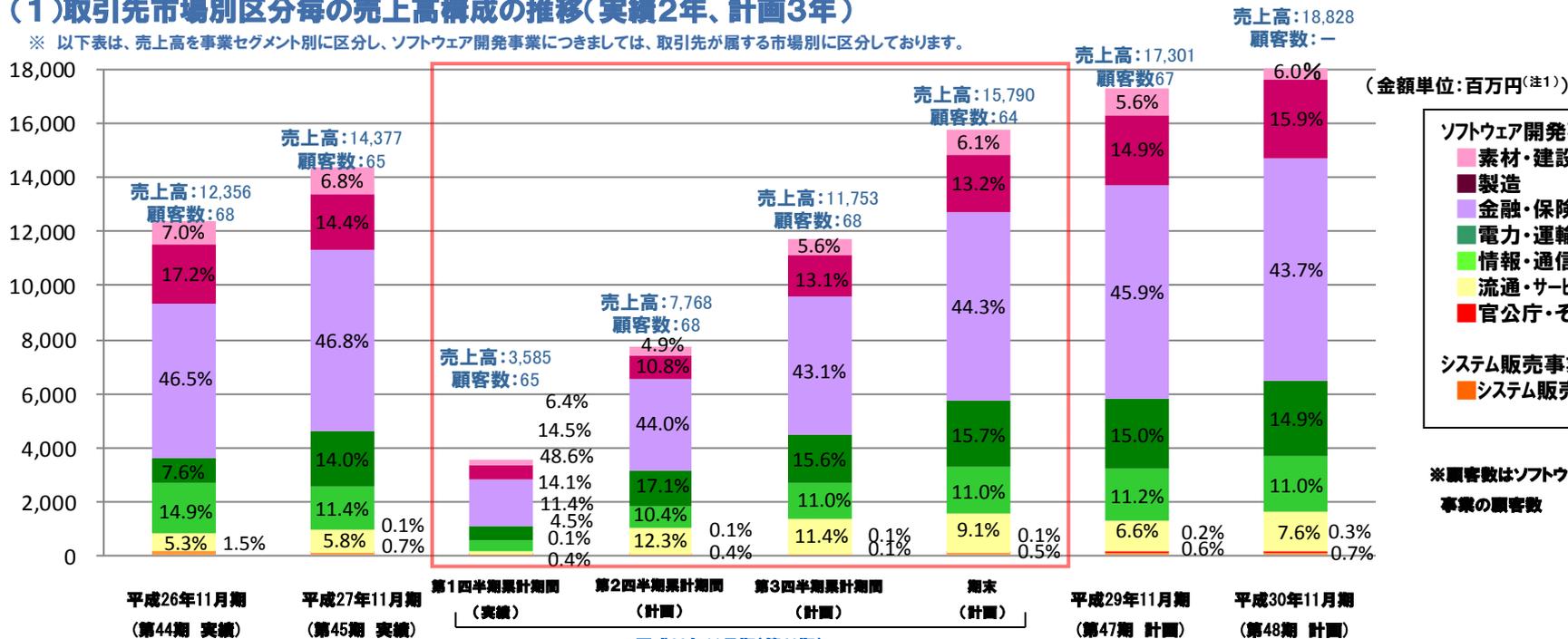
当期の見通し

連結財務諸表

Ⅱ-2-2 セグメント情報

(1)取引先市場別区分毎の売上高構成の推移(実績2年、計画3年)

※ 以下表は、売上高を事業セグメント別に区分し、ソフトウェア開発事業につきましては、取引先が属する市場別に区分しております。

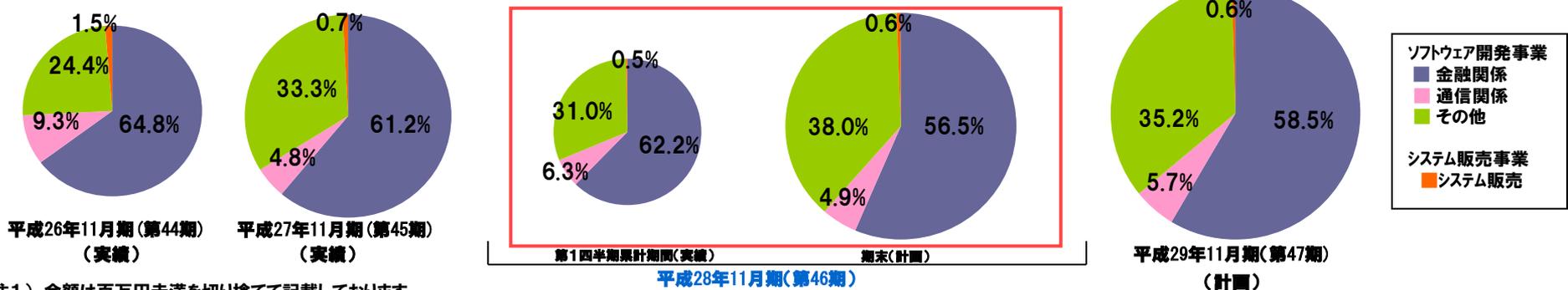


- ソフトウェア開発事業
 - 素材・建設
 - 製造
 - 金融・保険
 - 電力・運輸
 - 情報・通信
 - 流通・サービス
 - 官公庁・その他
- システム販売事業
 - システム販売

※顧客数はソフトウェア開発事業の顧客数

(2)主要業務システム別売上高構成の推移(実績2年、計画2年)

※ 以下表は、売上高を事業セグメント別に区分し、ソフトウェア開発事業につきましては、取引先より受注した業務システム別に区分しております。



- ソフトウェア開発事業
 - 金融関係
 - 通信関係
 - その他
- システム販売事業
 - システム販売

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

Ⅱ 詳細情報

当第1四半期の経営状況と業績

当期の見通し

連結財務諸表

Ⅱ-3 四半期連結財務諸表

Ⅱ-3-1 比較四半期連結貸借対照表

(金額単位:百万円^(注))

	平成27年11月期 (第45期)連結会計年度		平成28年11月期 (第46期)第1四半期 連結会計期間		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産合計	17,365	100.0%	16,313	100.0%	△ 1,051	△ 6.1%
流動資産	8,552	49.2%	7,804	47.8%	△ 747	△ 8.7%
現金預金	1,086	6.3%	1,789	11.0%	703	64.8%
有価証券	1,310	7.5%	1,235	7.6%	△ 74	△ 5.7%
仕掛品の	3,966	22.8%	2,029	12.4%	△ 1,936	△ 48.8%
その他	2,009	11.6%	2,385	14.6%	375	18.7%
固定資産	8,813	50.8%	8,509	52.2%	△ 303	△ 3.4%
有形固定資産	266	1.5%	251	1.5%	△ 14	△ 5.6%
リース資産	166	1.0%	151	0.9%	△ 14	△ 8.9%
その他	100	0.6%	100	0.6%	△ 0	△ 0.1%
無形固定資産	297	1.7%	294	1.8%	△ 2	△ 0.9%
投資その他の資産	8,249	47.5%	7,962	48.8%	△ 286	△ 3.5%
投資有価証券	4,154	23.9%	3,829	23.5%	△ 325	△ 7.8%
繰延税金資産	1,694	9.8%	1,714	10.5%	20	1.2%
敷金	300	1.7%	301	1.8%	1	0.4%
保険積立金	1,967	11.3%	1,986	12.2%	19	1.0%
その他	132	0.8%	130	0.8%	△ 1	△ 1.5%
負債及び純資産合計	17,365	100.0%	16,313	100.0%	△ 1,051	△ 6.1%
負債合計	3,335	19.2%	2,737	16.8%	△ 598	△ 17.9%
流動負債	2,533	14.6%	1,948	11.9%	△ 584	△ 23.1%
買掛金	549	3.2%	489	3.0%	△ 59	△ 10.9%
短期借入金	-	-	99	0.6%	99	-
リース負債	74	0.4%	72	0.4%	△ 2	△ 3.4%
未払金	1,291	7.4%	293	1.8%	△ 998	△ 77.3%
賞与引当金	-	-	353	2.2%	353	-
未払法人税等	468	2.7%	276	1.7%	△ 192	△ 41.1%
その他	149	0.9%	365	2.2%	215	144.2%
固定負債	802	4.6%	789	4.8%	△ 13	△ 1.7%
リース負債	93	0.5%	80	0.5%	△ 12	△ 13.2%
退職給付に係る負債	33	0.2%	31	0.2%	△ 1	△ 5.5%
役員退職慰労引当金	622	3.6%	623	3.8%	0	0.1%
資産除去債務	53	0.3%	53	0.3%	0	0.5%
その他	-	-	-	-	-	-
純資産合計	14,029	80.8%	13,576	83.2%	△ 453	△ 3.2%
株主資本	13,826	79.6%	13,446	82.4%	△ 380	△ 2.7%
資本金	2,238	12.9%	2,238	13.7%	-	-
資本剰余金	2,133	12.4%	2,132	13.1%	△ 1	△ 0.0%
利益剰余金	9,952	57.3%	9,747	59.7%	△ 204	△ 2.1%
自己株式	△ 497	△ 2.9%	△ 672	△ 4.1%	△ 174	-
その他の包括利益累計額	169	1.0%	96	0.6%	△ 72	△ 42.9%
その他有価証券評価差額金	129	0.7%	61	0.4%	△ 67	△ 52.5%
為替換算調整勘定	△ 17	△ 0.1%	△ 20	△ 0.1%	△ 3	-
退職給付に係る調整累計額	57	0.3%	56	0.3%	△ 1	△ 2.5%
新株予約権	33	0.2%	33	0.2%	△ 0	△ 0.3%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	第45期 連結会計年度	第46期第1四半期 連結会計期間	増減額	増減率
■資産				
*1 追加型公社債投資信託の一部解約に伴う預金の増加などにより、増加しております。				
*2 有価証券および投資有価証券の内訳は以下のとおりであります。				
①有価証券は、追加型公社債投資信託の一部解約により減少しております。				
②投資有価証券は、投資信託の売却および含み損の増加ならびに一年内返済予定公社債の流動資産への振替により減少しております。				
	(単位:百万円)			
有価証券	233	301	68	29.3%
追加型公社債投資信託	3,733	1,728	△ 2,004	△ 53.7%
合計	3,966	2,029	△ 1,936	△ 48.8%
投資株式	120	19	△ 101	△ 83.9%
子会社株式	837	894	56	6.7%
有価証券	10	10	-	-
投資信託	3,151	2,879	△ 271	△ 8.6%
匿名組合等への出資	34	26	△ 8	△ 24.0%
合計	4,154	3,829	△ 325	△ 7.8%
*3 受注増により、増加しております。				
*4 賞与引当金等の計上に伴う繰延税金資産の増加および投資有価証券の売却代金に係る未収入金の増加などによるものです。				
■負債				
*5 前期末にて未払金として計上していた従業員賞与および消費税を当期に支払ったことなどにより、減少しております。				
*6 各期に対応する賞与支給見込額について、前期末は確定債務として未払金に計上していましたが、当第1四半期末は未確定債務として賞与引当金に計上していることによるものです。				
*7 前期末にて未払金として計上していた消費税額を当第1四半期末では預り金として計上し、その他流動負債に表示していること、および未払配当金の計上などにより、増加しております。				
■純資産				
*8 親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したものの、配当金の支払により減少しております。				
*9 取締役会決議に基づく自己株式の取得による増加です。取得期間は平成28年2月1日から平成28年3月31日まで、上限は3億円(30万株)であります。				

Ⅱ 詳細情報

当第1四半期の経営状況と業績

当期の見通し

連結財務諸表

Ⅱ-3-2 比較四半期連結損益計算書

(金額単位:百万円^(注1))

	平成27年11月期 (第45期)第1四半期 累計期間		平成28年11月期 (第46期)第1四半期 累計期間		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	3,013	100.0%	3,585	100.0%	571	19.0%
ソフトウェア開発売上高	2,981	98.9%	3,569	99.6%	587	19.7%
素材・建設業	246	8.2%	230	6.4%	△ 16	△ 6.5%
製造業	318	10.5%	519	14.5%	201	63.4%
金融・保険業	1,484	49.2%	1,741	48.6%	257	17.3%
電力・運輸業	389	12.9%	506	14.1%	117	30.2%
情報・通信業	396	13.2%	410	11.4%	13	3.5%
流通・サービス業	141	4.7%	160	4.5%	18	13.2%
官公庁・その他	5	0.2%	0	0.0%	△ 4	△ 90.2%
システム販売売上高	32	1.1%	15	0.4%	△ 16	△ 51.5%
売上原価 ^(注2)	2,324	77.1%	2,845	79.4%	520	22.4%
ソフトウェア開発売上原価	2,318	77.8%	2,845	79.7%	526	22.7%
内作費	1,483	74.5%	1,646	76.5%	163	11.0%
外注費 ^(注3)	834	84.4%	1,198	84.5%	363	43.6%
システム販売売上原価	6	18.9%	-	0.0%	△ 6	△ 100.0%
売上総利益	689	22.9%	739	20.6%	50	7.3%
販売費及び一般管理費	358	11.9%	334	9.3%	△ 23	△ 6.7%
人件費	212	7.0%	192	5.4%	△ 20	△ 9.4%
旅費・交通費	9	0.3%	7	0.2%	△ 1	△ 15.9%
支払手数料	37	1.3%	41	1.2%	4	11.2%
賃借料・水道光熱費	17	0.6%	15	0.4%	△ 1	△ 10.8%
諸経費	81	2.7%	76	2.1%	△ 4	△ 5.8%
営業利益	330	11.0%	405	11.3%	74	22.5%
営業外収益	87	2.9%	209	5.9%	121	138.6%
営業外費用	3	0.1%	118	3.3%	114	3,155.4%
経常利益	415	13.8%	496	13.9%	81	19.6%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	812.5%
特別損失	65	2.2%	11	0.3%	△ 53	△ 82.1%
税金等調整前四半期純利益	349	11.6%	485	13.5%	135	38.8%
法人税、住民税及び事業税	264	8.8%	262	7.3%	△ 1	△ 0.6%
法人税等調整額	△ 113	△ 3.8%	△ 96	△ 2.7%	16	-
法人税等合計	150	5.0%	165	4.6%	14	9.9%
四半期純利益	199	6.6%	319	8.9%	120	60.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	199	6.6%	319	8.9%	120	60.7%
1株当たり四半期純利益(円)	11.45		18.34		6.89	60.2%

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

(注2) 「売上原価」の売上比は、それぞれ対応する売上高に対する比率を記載しております。

(注3) 「ソフトウェア開発売上原価」の「外注費」には、外注に係る補助部門費(購買費、検査費)を含んでおります。

■売上高
*1 通信基盤案件などの売上増により、増加しております。
*2 金融・保険業向けの基幹業務案件、再構築案件などの売上増により、増加しております。
*3 電力業および運輸業向けの再構築案件などの売上増により、増加しております。

■売上総利益
*4 ソフトウェア開発事業における増収効果により、増加しております。

■営業利益
*5 ソフトウェア開発事業における増収効果に伴う営業利益の増加およびシステム販売事業の縮小均衡に伴い、人件費などの販管費が削減されたことにより、増加しております。

■経常利益
*6 営業利益の増加などにより、増加しております。

■親会社株主に帰属する四半期純利益
*7 経常利益の増加および関係会社整理に係る特別損失の減少ならびに税負担率の平常化などにより、増加しております。

- ヌ 毛 -